



四日市市立
港中学校だより

青葉匂う

令和5年4月10日

No.1 発行:校長

令和5年度がスタートしました！

4月6日(木)の始業式、入学式は満開の桜のもとで・・・、と願っていましたが残念ながら葉桜となってしまいました。しかし、新緑の若葉から、また桜の違った魅力を感じます。これから5月にかけて、新緑の様々な緑色や木々の芽吹きから元気をもらいたいと思っています。



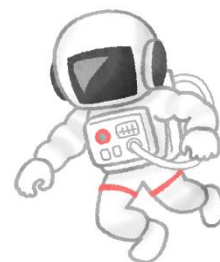
さて、今年度は52名の新入生を迎え、全校生徒172名でスタートしました。入学式では4年ぶりに吹奏楽部の歓迎演奏があり、いよいよ脱コロナとなって通常の学校教育活動が戻ってくると思いました。しかし、生徒たちに基本的にはマスクの着用は求めないものの、様々な理由からマスクを着用したい生徒がいることも考えられ、マスクの着脱による差別や偏見がないよう指導していきます。

入学式では私（校長）から次のこととお話しました。

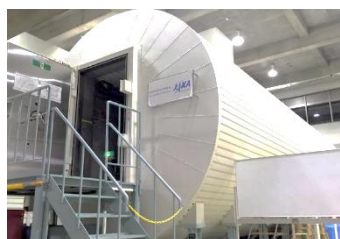
入学式 校長式辞 （一部抜粋）

港中学校がめざす生徒の姿のうち「自分も他者も大切にする生徒」についてお話ししたいと思います。

つい最近、NHKの番組で、「宇宙飛行士選抜試験」のドキュメンタリー番組がありました。みなさんの中にも見た人がいるかもしれません。宇宙飛行士を選抜する試験の様子を記録したものです。

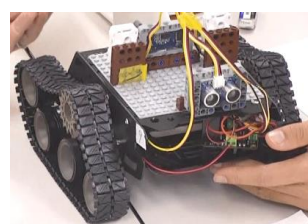


13年ぶりに行われた試験に、4127人の応募がありました。1年をかけていくつかの試験が行われ、最終試験に残ったのは僅か10名です。



最終試験は1か月をかけて行われます。その中に国際宇宙ステーションを真似た「閉鎖環境施設」と呼ばれる施設で1週間暮らすというものがありません。窓すらない外の世界から完全に隔離された狭い居住空間で、10人が1度も外に出ることはなく一緒に暮らします。その中で様々な課題が出され、24時間常に試験官に監視され、採点されるというものです。

課題の1つに、月面で走る車を作るというものがありません。もちろん本物ではなく、おもちゃです。この車はラジコンカー、つまり遠隔操作で動かすので、重要なのは、車のどこにカメラとセンサーを取り付けるかということでした。



10人がA、B、Cの3つのチームに分かれます。Cチームは3人

のチームでした。この中の2人は技術者でこのような車を考えるのは得意です。しかし、残りの1人、お名前を諏訪さんというのですが、ものづくりは自分の得意分野ではありませんでした。

普通に考えれば、試験官に見られて採点されているので、自分が積極的にリーダーシップをとり、たくさんの意見を言って他の人より目立てばより高い点数がもらえ、最終試験に合格しやすいように思います。

しかし、私が諏訪さんをすごいなと思ったのは、他の2人のものづくりの能力を認め、自分が前に出るのではなく、2人の聞き役に回ること、あえて2人をサポートすることで、チームがうまく機能することを優先したのです。

チームが課題を成功させるために、自分に何ができるのかを冷静に考え、自分の意見を通すよりも、他の人の意見を尊重することが大切だと判断したこと、もちろん、それだけで合格が決まるわけではないと思いますが、諏訪さんは見事、最終試験を合格し、宇宙飛行士の候補者となりました。

宇宙飛行士は宇宙ステーションで協力しながら数々のミッションをこなします。もし、ケンカして人間関係が悪くなれば、ミッションは成功しません。だから、宇宙飛行士にはチームワークが重要視されるとのことです。

しかし、チームワークがとれること、他の人とうまく協調するということは、宇宙飛行士に限らず、どの社会でも、学校でも大切なことだと思うのです。



中学校生活が始まります。学校は集団生活です。みんなで仲良く学校生活をおくるためには、自分の意見をきちんと伝えることも大切ですが、ときには自分のことを優先するのではなく、あえて陰でみんなを支えること、そんな心構えも重要ではないでしょうか。

「自分も他者も大切にする生徒」、ぜひ、そんな人になれるよう頑張ってください。

新年度のごあいさつ

校長の成田達也でございます。昨年度に引き続き、本校の校長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。また、今年度あたらしく11名が着任いたしました。

私たち教職員一同、本校の教育を温かく支えてくださっている保護者、地域の皆様方の思いを大切にしながら、学校経営を進めてまいりたいと考えております。微力ではありますが、子どもたちが、本校の生徒として誇りを持てるよう学校教育を進めていく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

四日市市立港中学校 校長 成田 達也